

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和4年3月31日（木）

### 2 確認箇所

5・6号機敷地護岸ヤード、5号機南側斜路

### 3 確認項目

- (1) 地震による地盤の沈下等の状況
- (2) 多核種除去設備等処理水希釈放出設備設置に伴う環境整備工事の状況

### 4 確認結果の概要

#### (1) 地震による地盤の沈下等の状況

令和4年3月16日午後11時36分頃に発生した福島県沖を震源とするマグニチュード7.3の地震により、構内ヤードや道路等の複数箇所において地盤の沈下等が確認されたことから、本日、そのうちの5・6号機敷地護岸ヤード及び5号機南側斜路の状況を確認した。（図1）

- ・5・6号機敷地護岸ヤードで発生した地表面が地割れした箇所は隙間にスラリー材が充填されており、補修されていた。（写真1）
- ・5号機南側斜路で発生した地表面の沈下した箇所は隙間に土砂やスラリー材が詰められており、補修が進められていた。（写真2）
- ・東京電力では、昨年2月の地震と同様に設備等の点検を行うとしており、今後、スケジュールをたて、対象設備等の選定や優先順位付けを行い、順次対応していくとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
5・6号機敷地護岸ヤード  
地割れ発生箇所①  
(北東側から撮影)



(写真1-2)  
5・6号機敷地護岸ヤード  
地割れ発生箇所②  
(南東側から撮影)



(写真2-1)  
5号機南側斜路  
地割れ発生箇所①  
(東側から撮影)



(写真2-2)  
5号機南側斜路  
地割れ発生箇所②  
(南東側から撮影)

(2) 多核種除去設備等処理水希釈放出設備設置に伴う環境整備工事の状況  
多核種除去設備等処理水希釈放出設備設置に伴い、5・6号機敷地護岸ヤードにおいて、昨年12月より環境整備工事が行われている。本工事においては、放水立坑（上流水槽・下流水槽）の設置や海底トンネル構築（本工事）に向けた整備を行っており、今回は放水設備の一部である放水立坑（下流水槽）の状況を確認した。（図1）

- ・放水立坑（下流水槽）の掘削が進められており、立坑の周囲は鋼材による土留壁が設置されていた。（写真3）
- ・立坑の東側の地表面には先日の地震で発生した地割れが修復された形跡が確認されたが、立坑内部には確認した範囲で影響は見られなかった。（写真1、4）
- ・東京電力では、今後、地割れ箇所の復旧作業を行い、準備が整い次第、放流立坑（上流水槽）の土留・掘削等を実施していくとしている。



(写真3)  
放水立坑工事の状況



(写真4)  
放水立坑内部の状況

#### 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。